

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-242178

(43)Date of publication of application : 29.08.2003

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

G06F 3/00

G06F 12/00

G06T 1/00

(21)Application number : 2002-043250

(71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing : 20.02.2002

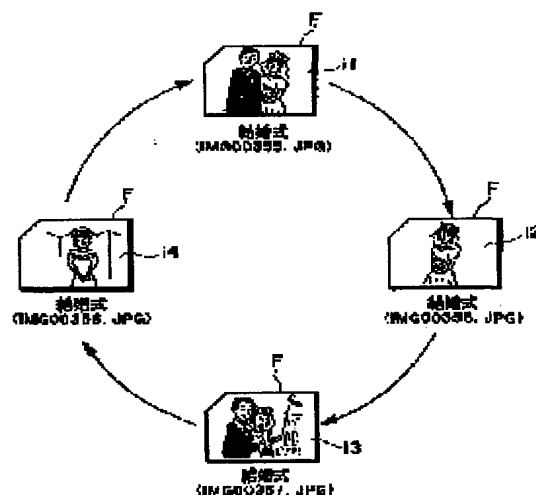
(72)Inventor : WATANABE MIKIO

## (54) FOLDER ICON DISPLAY CONTROL DEVICE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make images to be displayed by an image file stored into a folder recognizable.

SOLUTION: Images i1 to i4 for folder icons are generated by using the image file stored into the folder F. The generated images i1 to i4 for folder icons are successively displayed on the folder icons F at a fixed time period (slide show). Without opening the folder F, images to be displayed are recognized by the stored image file.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

07.04.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

06.06.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

2006-014106

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

04.07.2006

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-242178

(P2003-242178A)

(43) 公開日 平成15年8月29日 (2003.8.29)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/30	3 8 0	G 0 6 F 17/30	3 8 0 F 5 B 0 5 0
	1 7 0		1 7 0 B 5 B 0 7 5
3/00	6 5 7	3/00	6 5 7 A 5 B 0 8 2
12/00	5 1 5	12/00	5 1 5 B 5 E 5 0 1
G 0 6 T 1/00	2 0 0	G 0 6 T 1/00	2 0 0 E
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)			

(21) 出願番号 特願2002-43250(P2002-43250)

(22) 出願日 平成14年2月20日 (2002.2.20)

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社

神奈川県南足柄市中沼210番地

(72) 発明者 渡邊 幹緒

埼玉県朝霞市泉水三丁目11番46号 富士写

真フイルム株式会社内

(74) 代理人 100080322

弁理士 牛久 健司 (外2名)

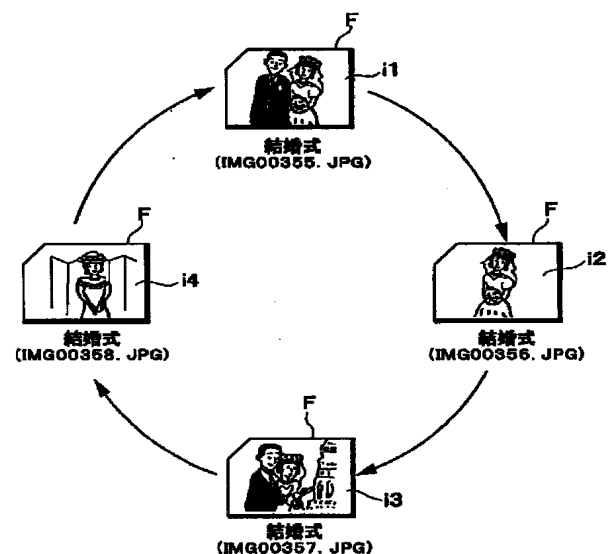
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 フォルダ・アイコン表示制御装置

(57) 【要約】

【目的】 フォルダ内に格納されている画像ファイルによって表される画像が分かるようにする。

【構成】 フォルダFに格納されている画像ファイルを用いてフォルダ・アイコン用画像i1からi4が生成される。生成されたフォルダ・アイコン用画像i1からi4が順に一定時間周期でフォルダ・アイコンF上に表示される (スライド・ショー)。フォルダFを開くことなく格納されている画像ファイルによって表される画像が分かる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 フォルダ内に格納されている複数の画像ファイルによって表される複数の駒の原画像の原画像データから、上記フォルダのアイコンに表示される大きさをもち、かつ上記複数の駒の原画像にそれぞれ対応する複数の駒のアイコン用画像のアイコン用画像データを生成するアイコン用画像データ生成手段、および上記アイコン用画像データ生成手段によって生成されたアイコン用画像データによって表される複数の駒のアイコン用画像が上記フォルダのアイコン上に順に表示されるように表示装置を制御する第 1 の表示制御手段、を備えたフォルダ・アイコン表示制御装置。

【請求項 2】 原画像表示指令を与える指令手段、および上記指令手段によって原画像表示指令が与えられた時に上記フォルダのアイコンに表示されているアイコン用画像に対応する上記原画像を表示するように上記表示装置を制御する第 2 の表示制御手段、をさらに備えている請求項 1 に記載のフォルダ・アイコン表示制御装置。

【請求項 3】 上記原画像の表示回数を計数する計数手段をさらに備え、上記第 1 の表示制御手段が、上記計数手段の計数値にもとづいて、上記アイコン用画像の表示順を決定するものである、請求項 2 に記載のフォルダ・アイコン表示制御装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【技術分野】 この発明は、フォルダのアイコン表示を制御する装置に関する。

## 【0002】

【発明の背景】 パーソナル・コンピュータに接続された表示装置の表示画面上には、パーソナル・コンピュータのハードディスクに格納されている、ソフトウェア、ファイルなどを特定するためにアイコンと呼ばれる図形が表示される。画像ファイルが格納されているフォルダがある場合には、そのフォルダのアイコンが表示される。フォルダ・アイコンがクリックされることにより、フォルダが開き、フォルダ内に格納されている画像ファイルのアイコンが表示される。表示された画像ファイルのアイコンがクリックされることにより、そのクリックされた画像ファイル・アイコンによって特定される画像ファイルが開く。開かれた画像ファイルによって表される画像が表示される。

【0003】 このように、フォルダ内に画像ファイルが格納されているときは、フォルダを開き、かつ画像ファイルを開かなければ画像ファイルによって表される画像を見ることができないことが多い。

## 【0004】

【発明の開示】 この発明は、フォルダを開くことなく、フォルダ内に格納されている複数の駒分の画像ファイルによって表される複数の駒の画像の内容を把握できるようにすることを目的とする。

【0005】 この発明によるフォルダ・アイコン表示制御装置は、フォルダ内に格納されている複数の画像ファイルによって表される複数の駒の原画像の原画像データから、上記フォルダのアイコンに表示される大きさをもち、かつ上記複数の駒の原画像にそれぞれ対応する複数の駒のアイコン用画像のアイコン用画像データを生成するアイコン用画像データ生成手段、および上記アイコン用画像データ生成手段によって生成されたアイコン用画像データによって表される複数の駒のアイコン用画像が上記フォルダのアイコン上に順に表示（いわゆるスライドショー表示）されるように表示装置を制御する第 1 の表示制御手段を備えていることを特徴とする。

【0006】 この発明は、上記フォルダ・アイコン表示制御装置に適した制御方法を提供するようにしてもよい。すなわち、その方法は、フォルダ内に格納されている複数の画像ファイルによって表される複数の駒の原画像の原画像データから、上記フォルダのアイコンに表示される大きさをもち、かつ上記複数の駒の原画像にそれぞれ対応する複数の駒のアイコン用画像のアイコン用画像データを生成し、生成されたアイコン用画像データによって表される複数の駒のアイコン用画像が上記フォルダのアイコン上に順に表示されるように表示装置を制御するものである。

【0007】 上記方法を実施するためのプログラムおよびそのようなプログラムを格納した記録媒体を提供することもできる。

【0008】 この発明によると、フォルダのアイコンに表示される大きさをもち、かつ複数の駒の原画像にそれぞれ対応する複数の駒のアイコン用画像を表すアイコン用画像データが生成される。生成されたアイコン用画像データによって表される複数の駒のアイコン用画像が、フォルダ・アイコン上に順に表示される。

【0009】 フォルダ・アイコン上に、そのフォルダ・アイコンによって特定されるフォルダ内に格納されている画像ファイルによって表される原画像に対応するアイコン用画像が順に表示されるので、そのアイコン用画像を見ることによりフォルダ内に格納されている画像ファイルの内容が分かる。

【0010】 たとえば、対応する原画像の撮影日時、画像ファイルのファイル名、ランダムなどの順にしたがってアイコン用画像をフォルダ・アイコン上に表示する。

【0011】 原画像表示指令を与える指令手段、および上記指令手段によって原画像表示指令が与えられた時に上記フォルダのアイコンに表示されているアイコン用画像に対応する上記原画像を表示するように上記表示装置を制御する第 2 の表示制御手段をさらに備えてもよい。

【0012】 原画像が表示されるので画像の詳細が分かる。

【0013】 上記原画像の表示回数を計数する計数手段をさらに備えてもよい。この場合、上記第 1 の表示制御

手段は、上記計数手段の計数値にもとづいて、上記アイコン用画像の表示順を決定できる。

【0014】表示回数の多い順にフォルダ・アイコン上に表示されるので、所望の画像を表す画像ファイルがそのフォルダ・アイコンによって特定されるフォルダ内に格納されていることがすぐに分かる。

【0015】また、上記計数値を表示するようにしてもよい。この計数値は、アイコン用画像に対応して表示するようにしてもよいし、上述のように表示される原画像に対応して表示するようにしてもよい。

【0016】

【実施例の説明】図1は、この発明の実施例を示すもので、コンピュータ装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【0017】コンピュータ装置は、コンピュータ3を含む。コンピュータ3には、表示装置1、プリンタ2およびキーボード5が接続されている。マウス6は、キーボード5を介してコンピュータ3と接続されている。コンピュータ3には、FD（フロッピー・ディスク）ドライブ7、CD-ROM（コンパクト・ディスク・リード・オンリ・メモリ）ドライブ8およびHDユニット9が接続されている。FDドライブ7は、FD（図示略）へのデータの書き込みおよびFDからのデータの読み出しを行う。CD-ROMドライブ8は、CD-ROM11からのデータ、プログラム等の読み出しを行う。HDユニット16は、ハードディスク10へのデータ（ファイル）の書き込みおよびハードディスク10からのデータの読み出しを行う。コンピュータ3には、内部メモリ4が含まれている。

【0018】CD-ROM11に格納されているプログラムがCD-ROMドライブ8によって読み出されることにより、後述する動作が実行される。

【0019】図2は、ハードディスク10の階層ディレクトリ構成の一部を示している。

【0020】この実施例においては、ハードディスク10には、「デスクトップ」というディレクトリの下に階層に「車」、「動物」、「スポーツ」、「結婚式」などのフォルダ名をもつフォルダが格納されている。これらのフォルダのそれぞれに静止画像ファイル（動画ファイル、音声ファイルが含まれていてもよい）が格納されている。たとえば、「車」のフォルダ名をもつフォルダにはIMG00001.JPGからIMG00003.JPGのファイル名をもつ画像ファイルが格納されている。同様に、「結婚式」のフォルダ名をもつフォルダには、IMG00355.JPGからIMG00358.JPGのファイル名をもつ画像ファイルが格納されている。そのほかのフォルダ名をもつフォルダについても同様に画像ファイルが格納されている。

【0021】図2においては、画像ファイルが得られたときの日時（撮影日時）も示されている。これらの撮影日時を示すデータは、画像ファイルのヘッダ領域に記録されている。

【0022】図3は、フォルダに格納されている画像ファイルによって表される画像を示している。

【0023】上述したように、「結婚式」のフォルダ名を持つフォルダ（フォルダ・アイコン）Fには上述したように、IMG00355.JPGからIMG00358.JPGのファイル名をもつ静止画像ファイルが格納されている。IMG00355.JPGからIMG00358.JPGのファイル名をもつ静止画像ファイルによって表される静止画像（原画像）I1からI4が表示される。

10 【0024】図4は、フォルダ・アイコンに表示される画像がスライド・ショーされる様子を示している。

【0025】この実施例においては、フォルダに格納されている複数の画像ファイルによって表される複数駒の画像から、フォルダ・アイコンの大きさにあつた複数駒のフォルダ・アイコン用画像が生成される。生成されたフォルダ・アイコン用画像が、一定周期で対応する画像の撮影日時順でフォルダ・アイコンF上に表示される。

20 【0026】「結婚式」のフォルダ名をもつフォルダを特定するフォルダ・アイコンFであれば、フォルダ・アイコンF上には最初に、「結婚式」のフォルダ名をもつフォルダ内に格納されている静止画像ファイルのうち最初の撮影日時の静止画像I1に対応するフォルダ・アイコン用画像i1（静止画像I1の縮小画像）が表示される。一定時間が経過すると、次の撮影日時の静止画像I2に対応するフォルダ・アイコン用画像i2がフォルダ・アイコンF上に表示される。さらに、一定時間が経過することにより、静止画像I3に対応するフォルダ・アイコン用画像i3フォルダ・アイコンF上に表示され、その後静止画像I4に対応するフォルダ・アイコン用画像i4がフォルダ・アイコンF上に表示される。このように、フォルダ・アイコンF上にフォルダ・アイコン用画像i1からi4が順に一定時間ごとに表示されていく（スライド・ショー）。フォルダ・アイコン用画像は間引き処理などによりコンピュータ1によって生成されるのはいうまでもない。

【0027】図5は、スライド・ショーの処理手順を示すフローチャート、図6は、表示装置1の表示画面上に表示されるウィンドウW1の一例である。

40 【0028】上述したように、スライド・ショーの動作プログラムが格納されているCD-ROM11がCD-ROMドライブ8に装填され、動作プログラムがコンピュータ装置にインストールされる。ユーザによってスライド・ショー・ソフトウェアの起動指令が与えられ、スライド・ショー・ソフトウェアが起動する（ステップ21）。

50 【0029】つづいて、開始すべきディレクトリの下に階層にあるフォルダが見つけれられる（ステップ22）。たとえば開始すべきディレクトリが図2に示す「デスクトップ」であれば、その下にある「車」、「動物」、「スポーツ」および「結婚式」のフォルダ名をそれぞれもつフォルダが見つけれられる。見つけれられたすべてのフォル

ダについて以下の処理が実行される。

【0030】 つづいて、ハードディスク10に格納されているすべてのフォルダについてそれぞれのフォルダ内に格納されている静止画像ファイルが検索により見つけれられる(ステップ23)。また、静止画像ファイルに格納されている撮影日時を表すデータが検索により見つけれられる(ステップ24)。見つけれられた撮影日時順に、画像ファイルがフォルダごとにソーティングされる(ステップ25)。つづいて、上述したように見つけれられた静止画像ファイルからフォルダ・アイコン用画像を表す画像データが生成される(ステップ26)。

【0031】 すると、表示装置1の表示画面上には図6に示すウインドウW1が現れる。ウインドウW1内には、フォルダ・アイコンF1、F2、F3およびF4が表示されている。これらのフォルダ・アイコンF1、F2、F3およびF4上に、生成されたフォルダ・アイコン用画像データによって表されるフォルダ・アイコン用画像を用いて、図4を参照して説明したように、スライド・ショーが行われる。すなわち、フォルダ・アイコンF1によって特定されるフォルダ内に格納されている静止画像ファイルから生成されるフォルダ用アイコン画像を用いてフォルダ・アイコンF1上にスライド・ショーが行われる。同様に、フォルダ・アイコンF2、F3およびF4によってそれぞれ特定されるフォルダ内に格納されている静止画像ファイルから生成されるフォルダ用アイコン画像がフォルダ・アイコンF2、F3およびF4上に表示されることとなる(ステップ27)。

【0032】 ユーザからの停止指令があるまで、フォルダ・アイコン用画像のスライド・ショーが繰り返される(ステップ28)。

【0033】 上述した実施例においては、ウインドウW1内にフォルダ・アイコンが表示されているが単に表示装置1の表示画面上に表示されるようにしてもよい。

【0034】 図7および図8は、変形例を示すものである。図7は、スライド・ショーの処理手順の一部を示すフローチャートである。図7において、図5に示す処理と同一の処理については同一符号を付して説明を省略する。図8は、表示装置1の表示画面に表示されるウインドウの一例である。

【0035】 図7を参照して、この変形例はウインドウW2内に小ウインドウW11と小ウインドウW12とが含まれている。小ウインドウW11は、上述したようにフォルダ・アイコンを表示するウインドウであり、小ウインドウW12は、フォルダ・アイコン用画像を生成するのに用いた元の静止画像を表示するウインドウである。静止画像が表示されるので画像の詳細が分かる。

【0036】 上述のようにウインドウW11内に表示されているフォルダ・アイコンF1、F2、F3およびF4上においてフォルダ・アイコン用画像を用いたスライド・ショーが行われている(ステップ27)。

【0037】 フォルダ・アイコンF1、F2、F3およびF4のうちいずれかのフォルダ・アイコンがポインタPによって指定される(ステップ31)。ポインタPは、マウス6を用いてユーザによって操作されよう。ポインタPによって指定されたフォルダ・アイコン(フォルダ・アイコンF4が指定されたものとする。)において行われていたフォルダ・アイコン用画像のスライド・ショーが停止される(ステップ32)。

【0038】 ポインタPが指定された時点においてフォルダ・アイコンF4に表示されていたフォルダ・アイコン用画像(フォルダ・アイコン用画像i1とする。)に対応する静止画像を表す画像データがハードディスク10から読み出される。読み出された画像データによって表される静止画像I1が小ウインドウW12内に表示される(ステップ33)。

【0039】 ポインタPがフォルダ・アイコンF4から離れるとフォルダ・アイコンF4の指定が解除されたこととなり(ステップ34でYES)、再びフォルダ・アイコンF4上においてフォルダ・アイコン用画像のスライド・ショーが始まる。小ウインドウW12には、以前に表示されていた静止画像がそのまま表示されていてもよいし、表示されないようにしてもよい。

【0040】 上述した実施例においては、ポインタPがフォルダ・アイコンに近づく(たとえば、フォルダ・アイコン上にポインタPがある)と、対応する静止画像が小ウインドウW12に表示されているが、ポインタPがフォルダ・アイコン上にあり、かつマウス6によりクリックされたときに、対応する静止画像が小ウインドウW12に表示されるようにしてもよい。

【0041】 図9から図11は、さらに他の変形例を示すものである。図9および図10は、スライド・ショーの処理手順を示すフローチャートの一部を示すものであり、図5または図7に示す処理と同一の処理については同一符号を付して説明を省略する。図11は、表示装置1の表示画面に表示されるウインドウの一例である。

【0042】 上述した実施例においては、スライド・ショーは撮影日時順に行われるものであるが、次に述べる変形例は、静止画像が表示された回数順にスライド・ショーが行われるものである。上述のようにしてポインタPによってフォルダ・アイコンが指定され、静止画像が小ウインドウW2に表示された回数が計数される。この計数はコンピュータ1によって行われ、その計数値を表すデータはハードディスク10に、画像ファイルと対応したテーブルとして格納される。

【0043】 ハードディスク10の所定の領域に格納されている表示回数を表すデータが見つけれられる(ステップ24A)。すると、表示回数の多い順(少ない順でもよい)に、画像ファイルがソーティングされる(ステップ25A)。フォルダ・アイコン用画像がフォルダ・アイコン上において表示回数の多い順にスライド・ショーが行

10

20

30

40

50

われることとなる（または表示回数の少ない順にスライド・ショーが行われる）（ステップ27）。

【0044】 上述のようにポインタPによってフォルダ・アイコンが指定されると（ステップ31でYES）、指定されたフォルダ・アイコンのスライド・ショーが停止させられ（ステップ35）、指定されたフォルダ・アイコン上に表示されているフォルダ・アイコン用画像に対応する静止画像の表示回数がインCREMENTされる（ステップ35）。また、小ウインドウW12には指定されたフォルダ・アイコン用画像に対応する静止画像I1が表示され、表示回数も表示される。表示回数が一見して分かる。もったも、表示回数は必ずしも表示されなくともよい。表示回数のINCREMENTに対応して表示回数テーブルも更新されるのはいうまでもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 コンピュータ装置の電気的構成を示すブロック図である。

【図2】 ディレクトリ構成の一部を示している。

【図3】 フォルダに格納されている画像ファイルによって表される静止画像を示している。

【図4】 スライド・ショーが行われる様子を示している。

【図5】 スライド・ショーの処理手順を示すフローチャートである。

【図6】 表示装置の表示画面に表示されるウインドウの\*

\*一例である。

【図7】 スライド・ショーの処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図8】 表示装置の表示画面に表示されるウインドウの一例である。

【図9】 スライド・ショーの処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図10】 スライド・ショーの処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図11】 表示装置の表示画面に表示されるウインドウの一例である。

【符号の説明】

1 表示装置

3 コンピュータ

6 マウス

8 CD-ROMドライブ

9 HDユニット

10 ハードディスク

11 CD-ROM

20 F, F1, F2, F3, F4 フォルダ（フォルダ・アイコン）

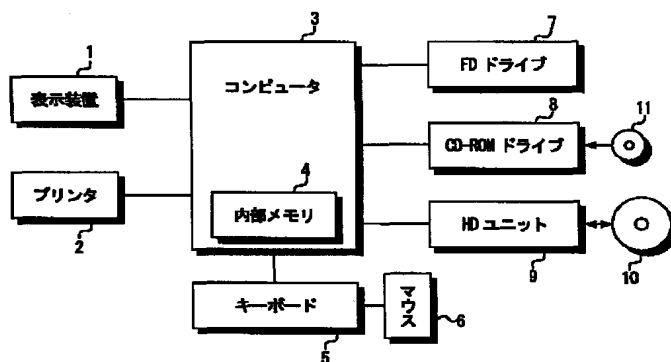
I1, I2, I3, I4 静止画像

i1, i2, i3, i4 フォルダ・アイコン用画像

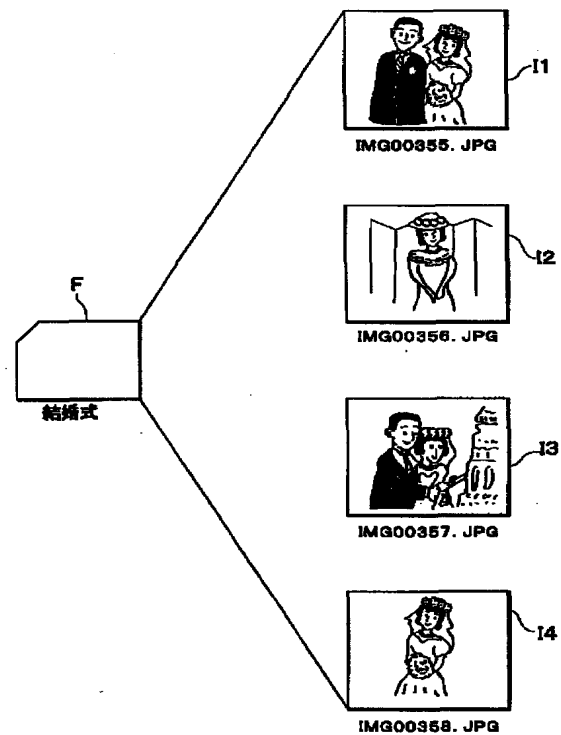
P ポインタ

W, W1, W2, W3, W11, W12 ウインドウ

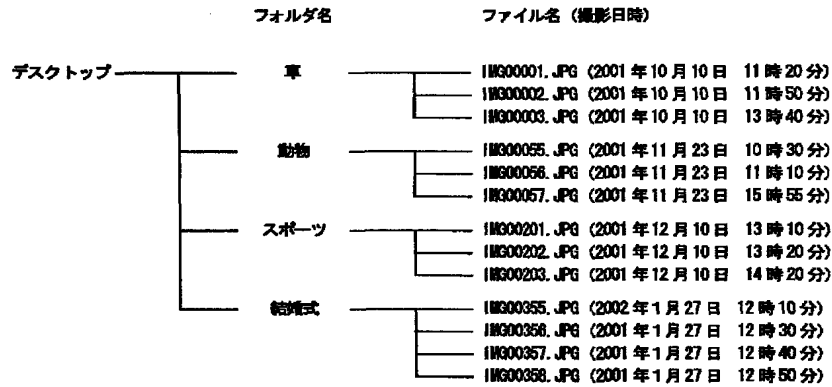
【図1】



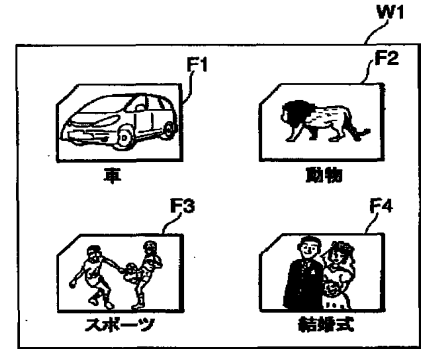
【図3】



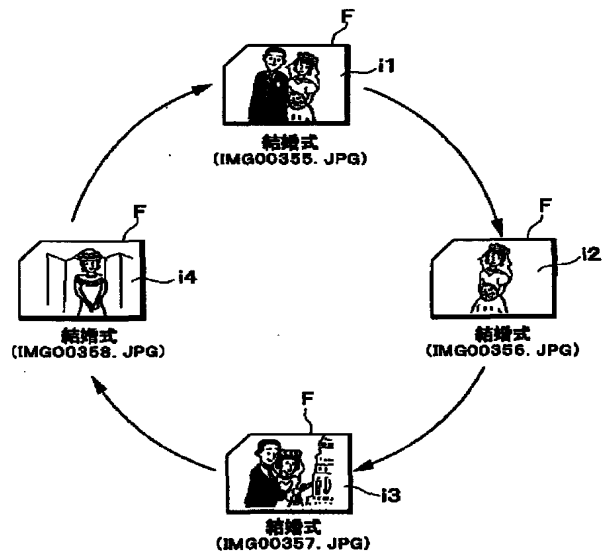
【図2】



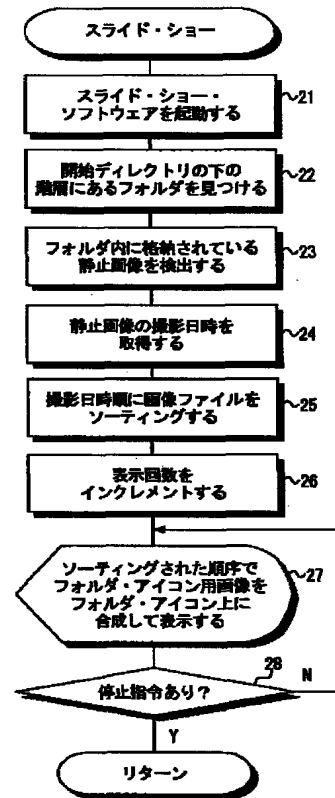
【図6】



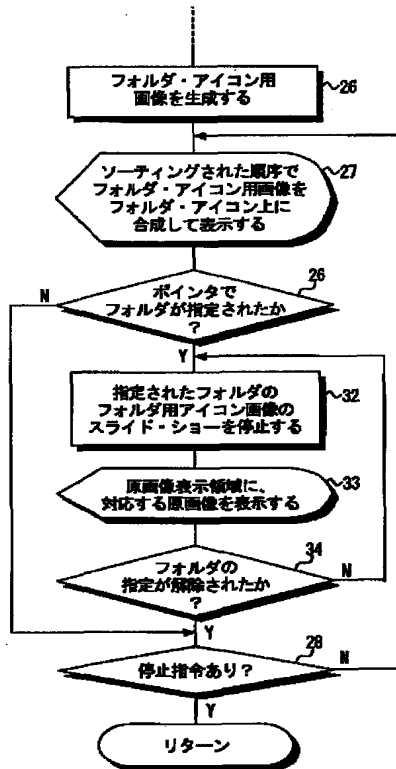
【図4】



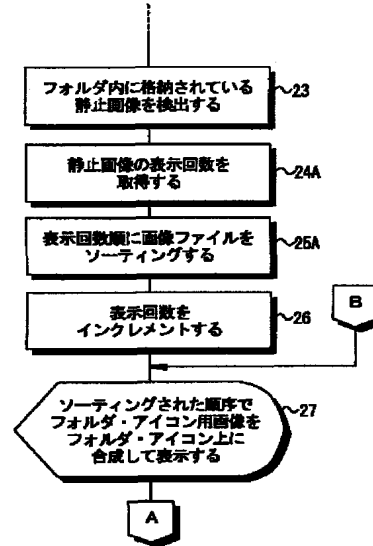
【図5】



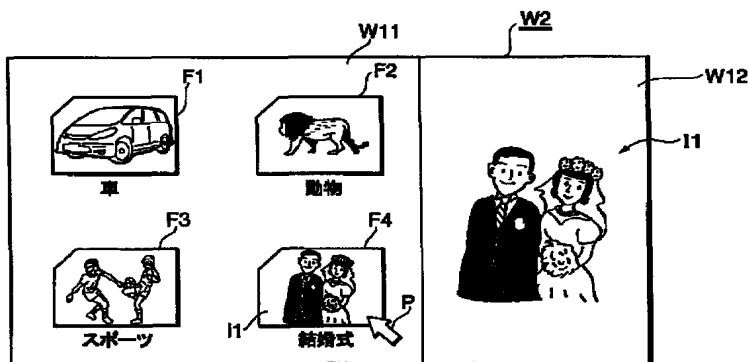
【図7】



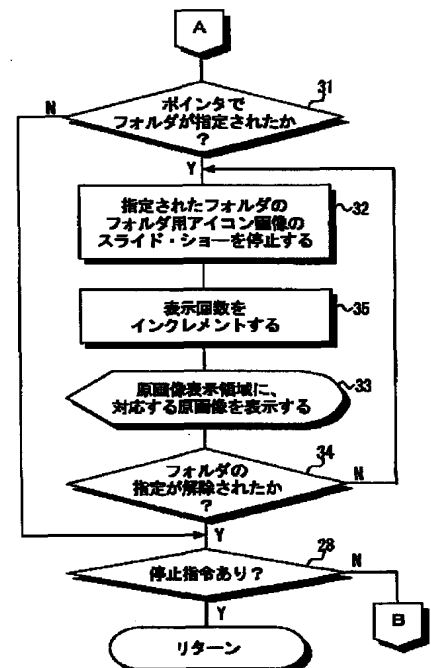
【図9】



【図8】

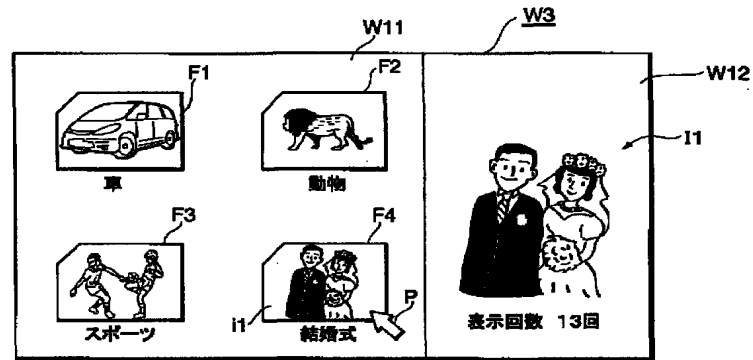


【図10】





【図 11】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5B050 AA09 BA15 CA07 FA02 FA09  
 FA13 FA19 GA08  
 5B075 ND06 PQ02 PQ43 PQ76  
 5B082 AA13 GC06  
 5E501 AA01 AA02 BA05 EA11 EB05  
 FA04 FA21